

違う文化を持つ私たち 同じまちで共に暮らす

文化国際課 ☎027-898-6516



身近に外国人、が当たり前

本市には7月末現在で6,607人の外国人が暮らしています。5年前からおよそ3,000人も増えています。街でも外国人を見かけることが多くなりました。

左から内藤久暁さん、プラティープ・トンソーパーさん、キッサナ・ムウンハットさん、ジャスティン・ブルーイットさん



NSKステアリングシステムズ
内藤 久暁さん

ブルーイットさんと共に働く、上司の内藤久暁さん。彼のグループにはブルーイットさんの他にタイ人が3人所属しています。「コミュニケーションは主に英語ですが、日本語をあえて交えるようにしています。彼らが日本語を勉強しているというのもありまし、日本語のほうに感情を伝えやすいんです」
違う国、文化の中で育ち、今は一緒に働くメンバー。「働いていてお互いの感覚の違いを感じることは正直あります。でもみんな自身で選択し日本に来て文化を知ろうとしています。その気持ちがあるから違いは問題ではありません」
互いを理解し合うにはどこで育ったかではなく、相手を思い相手に向き合う気持ちが大切です。



多くの国を知ることができます

● 本市在住の外国人は国籍多様 他国の文化に触れるチャンス

年に一度市国際交流協会が主催する「国際交流パーティー」。昨年は各国の料理食べ比べや民族衣装のファッションショーなどを行い、楽しみながらお互いの文化への理解を深めました。他にも、市内各所でさまざまな団体が各国のおまつりなど外国文化を知るイベントを開催しています。参加することは知ることの第一歩。ぜひ参加してください。

市国際交流協会では、多文化を理解するきっかけとして、国際理解講座や各国料理教室などを開催しています。また、ホストファミリーや日本語ボランティアの募集などもしています。一歩踏み出すことで、国を超えた友人ができます。詳しくは国際交流協会ホームページをご覧ください。



市国際交流協会
中里 砂織さん

若者発！五感で感じる交流会 みんなでつくる多文化の集い

共愛学園前橋国際大の学生たちが、外国人との交流会を開催します。知り合いの外国人にもお知らせください。

日時=8月26日(日)午後1時30分~4時30分

会場=群馬ロイヤルホテル(大手町一丁目)

申し込み=当日会場へ直接

☎ 多文化共生ぐんま ☎090-2202-2611

● これからますます
外国人が訪れるまちに
2020年開催の東京オリンピックパラリンピックでは、キャンプ地としてハンガリーなどの選手が本市に滞在予定。世界レベルの技が見られるだけでなく、長年にわたり相互の交流事業を行っていくこととなります。また、本市は外国人観光客誘致にも取り組み、海外でもPRをしています。
これからますます外国人が訪れる前橋。さまざまな文化が混ざり合うことが、誰もが住みやすいまちとはどんなものか考える大きなきっかけになるのではないのでしょうか。



NSKステアリングシステムズ
ジャスティン・ブルーイットさん

● 一緒に働く文化の違う仲間
市内にあるNSKステアリングシステムズで働くアメリカ人のジャスティン・ブルーイットさん。同社は数年前からグループ会社の中で技術を学び合う制度を積極的に導入。彼はその制度を利用して、アメリカから技術を学びに日本へ来ています。
「違う文化に触れてみたいと思います、研修は自分から希望しました」
同社で実施している日本語講座に毎週参加し、日本語を勉強中。「自分が困っていると、たとえ英語が話せなくても皆さんが助けてくれるので、ここで働く上で不安はありません」
休みには家族と一緒に全国各地を訪れたり公園に遊びに行ったり、日本での生活を楽しんでいます。